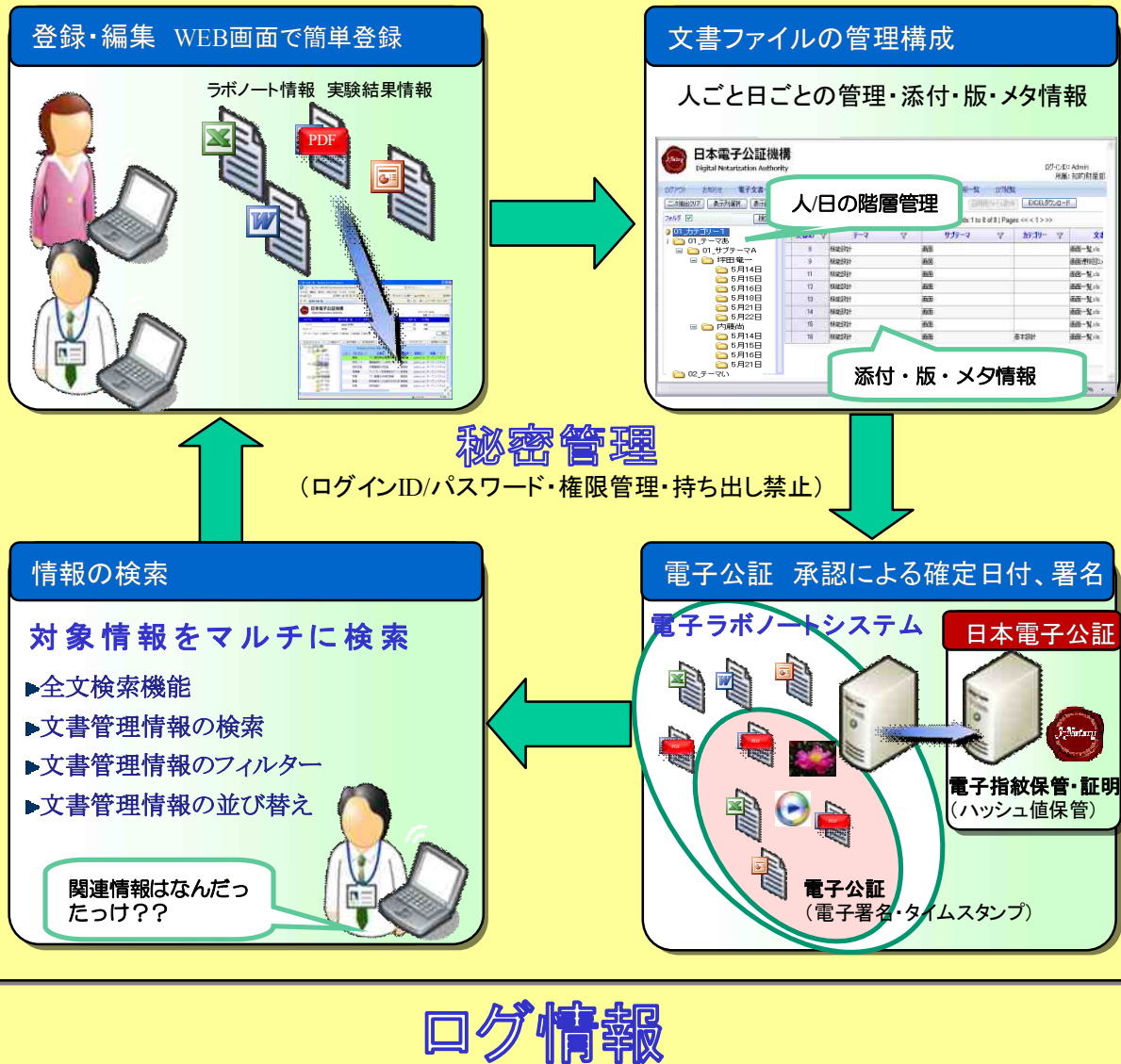


電子ラボノートシステムソリューション



- ▶ラボノートを電子化したい。
- ▶研究者間あるいは社員間の情報共有と秘密管理を両立させたい。
- ▶不正競争防止法を視野に、ノウハウを営業秘密として管理したい。
- ▶ラボノートの運用（購入、配布、回収、署名、保管 など）にかかる労力を削減したい。
- ▶ラボノート（帳面）を導入したいが、インク手書きは手間だ。

．．．． とお考えなら一度ご相談下さい。

機能一覧

基本機能		基本機能	
機能	内容	機能	内容
登録・保存	電子ファイルの登録・サーバ保存	階層表示	人、日別階層表示
電子公証	電子署名・タイムスタンプ・ハッシュ値保管	添付資料	関連文書のグルーピング機能
原本非改ざん・存在証明	日本電子公証機構より、公証証明書発行存在証明	版管理	電子ファイルの差替え履歴の保存
ファイル関連情報一覧照会	ファイル情報／登録情報／公証情報を一覧画面で照会	全文検索	登録ファイルの内部テキストを検索
検索・並び替え・フィルター	ファイル情報／登録情報／公証情報一覧画面の検索、並び替え、フィルター	オプション機能	
閲覧	電子ファイルの閲覧(保存あり)	機能	内容
権限管理	期限付き認証管理・利用権限および照会範囲権限の管理	持出し禁止	照会ファイルの保存制御・印刷制御

電子公証について

株式会社日本電子公証機構の電子公証サービスは、その電子ファイルが、

誰のもので (電子署名(電子認証)^{*1})、
いつから存在し (タイムスタンプ^{*2})、
その後改ざんされていない事を (ハッシュ値^{*3})

中立の第三者の立場で株式会社日本電子公証機構が証明します。

*1:電子署名(電子認証)

2001年4月施行の電子署名法によって、電子署名が捺印やサインと同等の法的効果が認められました。

*2:タイムスタンプ

独立行政法人 情報通信研究機構が決定している日本の標準時刻とトレーサビリティを持った、ひいてはバリエーションを置く国際度量衡局が決定する世界協定時とトレーサビリティを持った、正確な日付時間を使っています。

*3:ハッシュ値

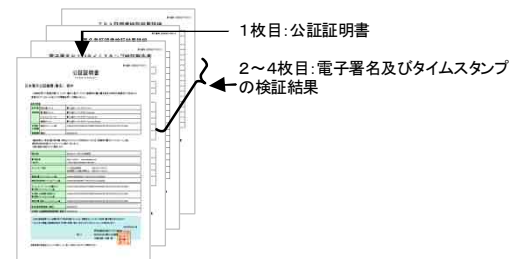
インターネットの暗号化技術の中で広く使われています。電子ファイルの内容が1ビットでも違えば、まったく違うハッシュ値が算出されます。ハッシュ値からは元のファイルは復元できません。

公証証明書について

電子公証サービスによって、対象の電子ファイルが、

誰のもので
いつから存在し
その後(証明時点まで)改ざんされていない事を

中立の第三者の立場で株式会社日本電子公証機構が証明することを証した文書で、必要なときに発行し相手に提示します。



稼働環境

サーバOS: Windows Server 2008

DB: SQL Server 2008

クライアント: IE6.0以上

料金

システム基本機能 : 350万円

電子公証サービス : 先使用権立証支援サービスの料金表と同じです

本件に関する詳しい内容につきましては下記にお問合せ下さい。

電子公証サービス提供

株式会社 日本電子公証機構

〒130-0013 墨田区錦糸2丁目14番6号

TEL 03-5819-3871 FAX 03-5819-3873

URL <http://www.jnotary.com>

E-mail info@jnotary.com

システム開発・導入サポート提供

株式会社 システムコンサルタント 第一営業部

〒130-0012 墨田区太平4丁目1番3号 オリナスタワー12F

TEL 03-3829-4631 FAX 03-3829-4475

URL <http://www.ksc.co.jp>

E-mail sps-info@ksc.co.jp